

町家のライフサイクル

その手入れ、傷みの見分け方、改修費用と耐用年数について

日本の優れた伝統構法で建てられている町家。
新しい町家でも、すでに築80年以上を経ています。
町家で一生暮らすとしたら、その改修費はどのくらい必要なのか。
町家に住みたい、住み続けたいと考えたとき、
気になる費用や耐震性、その他の疑問にお答えします。
京町家作事組では、建てられた時と同じ伝統構法で町家の傷みを修復し、
安全で快適な住まいづくりのお手伝いをしています。
町家改修の経験豊富な設計士が、その要点をお伝えします。

(主要なテーマ)

- ・ 町家の耐用年数は？ 在来工法の建物との違い
- ・ 改修の優先順位
- ・ 部位、素材による耐用年数と手入れのスパン
- ・ 改修に掛かるコストの目安、一生の内に必要な費用
- ・ 住み手が出来る町家の手入れ、点検、不具合への気付き
- ・ 伝統構法で直す限り町家の資産価値は下がらない
- ・ 町家は地震に弱いのか？

● **場所**：釜座町町家 （京町家作事組事務局：京都市中京区三条通新町西入ル32）

● **日時**：11月18日（土）10：00～12：00

● **参加料**：1,000円/人（当日受付にて申し受けます。）

● **定員**：30名

● **講師**：末川協（京町家作事組理事）

1964年京都市生まれ。
京都大学大学院修了後、建築設計事務所勤務、
ブータン王国王立司法裁判所勤務を経て
2004年に末川協建築設計事務所設立。
以後、町家改修工事の実績多数。



● **申込締切**：2018年11月10日まで。但し定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

● **申込先**：京町家作事組 担当：森

Tel: 075-252-0392 Fax: 075-252-2392 E-mail: sakuji@kyomachiya.net

● **主催**：一般社団法人 京町家作事組 <http://kyomachiya.net/sakuji/index.html>

● **共催**：特定非営利活動法人京町家再生研究会 京町家友の会 京町家情報センター

● **後援**：京都市 京都市景観まちづくりセンター